

挨拶

広島県特別支援学校教育研究大会を開催するに当たり、広島県教育委員会 教育長 下崎邦明様をはじめ御来賓の皆様には、大変御多用な中、御臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成12年度に発足した本研究会は、本年度で16年目の活動を迎えています。発足当時は障害種別に5つの部会に分かれての研究活動を推進してきましたが、平成17年度から5部会を統合し、会員が一丸となって広島県における特別支援教育の充実・発展を図って参りました。本県では昨年12月「広島県版『学びの変革』アクションプラン」が策定され、子供の主体的な学びを促し、学んだことを活かしながら、子供自ら課題を発見し、その解決へ向けて主体的に学ぶことを目指して取組を進めております。教職員自らが主体的に研修に励み、実践的に活用し、子供の主体的な学びを促す教育活動を実践していただくことが必要であると考えます。

昨年度は、研究大会への参加者数の増加により、広島大学に会場を移して開催いたしました。本年度は福山特別支援学校が事務局を担当するということで、ここ福山市のふくやま芸術文化ホール及び福山市立大学で開催する運びとなりました。これまで本研究会が長年にわたり積み重ねてきた成果を大切にしつつ、最新の施設を有する大学の強み・良さを活用した「学校企画」をさらに充実発展させ、会員が各学校で取組んできた成果を研究大会において報告・発表し合うことといたしました。また、昨年度に引き続き分科会方式を取り入れ、研究グループによる運営とし、主体的に学び合い鍛え合う研究会を志向しさらに工夫・改善したところです。今後、各学校で推進していく研究・実践の参考としていただき、広島県における特別支援教育の更なる充実・発展を図りたいと願っております。

また、本日の研究大会では、「インクルーシヴ教育の考え方を理解する」と題して千葉大学教育学部教授 眞城知己先生に御講演をいただきます。会員の皆様の実践を深めるためのきっかけとなるとともに、今後の本研究会並びに広島県の特別支援学校の教育のより一層の充実・発展につながることを期待しています。

結びになりましたが、本日の研究大会に向けて御支援・御指導をいただきました広島県教育委員会事務局教育部特別支援教育課、広島県立教育センターの皆様、本日、御参加いただいた会員の皆様に心から感謝申し上げます、開会の挨拶といたします。

平成27年12月24日

広島県特別支援学校教育研究会
会長 我妻 享